



わんにゃん新聞



文責：古賀



皆さん、こんにちは！
 だんだん夏に近づいてきましたね。
 猛暑になっても快適に過ごせるように、
 暑さ対策をお願いします。
 今回のテーマは『熱中症予防』です。

「暑さ対策」していますか？



段々と日差しが強くなってきましたね。
 熱中症にならない様に、大切なわんちゃん、猫ちゃんも涼しく夏を乗り切ってください。
 犬猫は人間より4~5倍の速さで年をとっていきますので、
 『去年は平気』でも、『今年も平気』ということはありませんので注意が必要です。

熱中症とは？

体温が40度以上に上昇し、よだれや嘔吐・下痢などの症状が出て、
 多くの臓器が障害を起こす場合もあります。
 ひどい場合にはケイレンを起こしたり、意識がなくなってしまうこともあります。
 最悪、死に至る場合もあるので注意が必要です。

室内でのお留守番はエアコンをつけて!!

今年も節電ムードですが、節電して熱中症になってはいけませんのでホドホドにしてください。
 人が家にいるときは室内犬や猫であれば涼しい環境だと思います。
 ですが、飼い主さんが外出するとわんちゃん・猫ちゃんはお留守番ですね。
 『小窓を開けているから大丈夫。』なんてことはありませんか？
 人がその環境下にいたら耐えられるでしょうか。
 人が耐えられない環境は毛皮を着ている犬猫にとっても耐えられません。

外飼いの留守番はとにかく日陰、風通しよく!!

風通しの良い所に日陰を作りましょう。
 “よしず”を3枚ほど重ねて日陰を作ってください。
 人が立っている高さで風通しが良いでは犬にとっては涼しくありません。
 屈んで風通しがよいか、確認して下さい。



西川動物病院

43-0200

ご意見・ご感想
 お待ちしております!
 info@on-vet.com

ホ-410-3111
 リ-2-7111!! <http://www.on-vet.com/>



お散歩時の注意

お散歩は朝早くか夜遅くに!!

人間がもう涼しいだろうと思っても、アスファルトはとても熱くなっていて、わんちゃんにとっては低温ヤケドする事がよくあります。

わんちゃん達は靴を履いてないので素足です。

それに、人間よりも地面近くに体もあります。

なので、お散歩に行く前に手の平をアスファルトに触れて熱くないか確認して出かけましょう。



散歩コースのあぜ道に御用心!!

あぜ道でのお散歩はヘビ(マムシ)に注意しましょう。

年に何頭か咬まれて腫れて来院するわんちゃんがあります。

除草剤をまいてある場所も注意です。

舐めたりすると中毒症状(よだれ、嘔吐下痢、血便など)を起こす場合があります。



HAPPY BIRTH DAY!!

6月10日はウエルッシュ・コーギーのラブの誕生日です。

今年でもう9歳になります。

これからも西川動物病院の看板犬として頑張りますので宜しくお願いします!!



ANIMALトリビア: カメは生まれた時の温度によって性別が決まる。

塚崎トレーナーのしつけのいろは

文積: 塚崎

《第4回: 散歩》

散歩のときに引っ張る犬に困っている飼い主さんも多いのでは?

これを解決するには3つのことを知っておく必要があります。

- ①引っ張る犬の気持ち
- ②飼い主さんが主導権をとる方法
- ③道具などを使うときの注意点

今回は①についてお話します。

① どうして引っ張るのか?

散歩のときに犬が引っ張るのは犬が自分がリーダーだと思っていて、

『自分が先頭になって飼い主さんを守らなければ!』

という気持ちでいるからです。

ですから、飼い主さんがリーダーだという事を家庭で

しっかり教えてあげましょう。

そして、飼い主さん自身がよいリーダーになってあげましょう。



②・③は次回へつづく...